

令和元年度 天子田デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

令和元年度は①機能訓練の充実と②共生社会の実現の二点に目標を定めて実践してきた。

①の機能訓練の充実に関しては、これまで実施してきた個別機能訓練に加え、令和元年よりリハビリ体操クラブの日を設けた。2か月ごとに体操のメニューを変更しながら全員参加を促し、4月と10月には効果測定を行うことができた。その結果、積極的に身体を動かす習慣が定着し、リハビリ体操クラブは利用者の好評を得た。しかし身体機能や筋力アップの効果を可視化するという点についてはまだ不十分であり、今後の課題として残されている。

②の共生社会の実現に関しては、障害者の受け入れを継続してきたものの、65歳到達による介護保険への切り替えや通所リハビリへの移行、状態が悪化しての入院や死亡により現在は1名にまで減少しており、事業所や既存の施設への営業活動を行ってきたが、利用者増には至らなかった。一方で共生社会の実現と地域のニーズを掘り起こすために、近隣の地域住民に行事やボランティアの来所日に合わせてデイサービスに足を運んでいただく機会を増やし、その結果地域との交流においては一定の成果が見られた。

1 基本方針

当施設にあっては、創設者の「愛するものは愛される」の経営理念に基づき、「尊厳と生きがいのある生活」「利用者本位の自立支援」を基本として、利用者の要介護状態の軽減もしくは悪化の防止、又は、要介護状態となることの予防を資するものである。

2 介護度の改善・維持の取り組み

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのためにケアマネとの連携を図り、利用者課題の把握に努め、ケアプランに基づいた個別のサービス計画書を作成した上で、個々のニーズや能力に合わせたリハビリをはじめ、様々なアクティビティを提供した。

3 介護保険外サービス

今年度は要支援者実費利用の依頼はなかった。外部美容師による理容はひと月に6～8名の方が利用され、在宅生活を支える一助となった。

4 ユーザー評価及び情報開示の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた民主的で健全な事業経営が求められている。ユーザー評価及び情報開示の実施により、利用者、家族の「安心」と「信頼」を得られるよう、サービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

5 アクティビティ活動の促進

表 18（一日のサービス実施内容）参照

6 事故防止対策の取り組み

事故報告とヒヤリハット報告を毎月の職員会議の議題で取り上げ検証を行い、周知・徹底を図る事が大きな事故を未然に防ぐ事に繋がるという認識を職員が持ち、事故防止に取り組んだ。また事故発生時においては、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するよう努めた。

7 相談・苦情

利用者・家族からの率直な意見を、適切に収集し、真摯に受け止めるために「相談（苦情）受付表」と「できごと報告書」を活用し、利用者懇談会を設け、利用者・家族の苦情・意見・要望に対して、出来る限りの改善に努めた。

また日頃から何気なく交わされる会話の中で、利用者・家族の悩みや不満を察知し、話をする機会を設けるなど、早めに問題解決を図った。ケアマネジャーからの相談・苦情についても円滑、迅速に対応した。

8 個人情報の保護

日常的に利用者・家族の個人情報を多く取り扱っており、いったん取り扱いを誤ると、利用者・家族に被害を及ぼすおそれがあるため、全職員に対して個人情報の管理と適切な取り扱いについての周知徹底を図った。

9 職員の安全衛生・メンタルヘルスの取り組み

ストレスチェックや安全衛生の取り組み（交通安全危険予知・腰痛予防・感染症対策など）を行い、身体的・精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と心身の健康を保持し、良質な介護サービスが提供できるよう努めた。

10 設備・備品の改善

・送迎車修理 ・浴室ヘアキャッチャーパッキン修理 ・着脱場の換気扇修理 ・トイレの詰まり直し ・乾燥機のフィルター清掃 ・カラオケ機材の新調 ・エレベーター-通話機の更新 ・カラオケルームの壁の修繕 ・浴槽タイルの修繕

11 職員の配置状況

（令和2年3月31日現在）

	管理者	生活相談員	看護師	介護士	計	実人数
常勤専従	—	—	—	—	—	—
常勤兼務	1	3	—	2	6	3
非常勤専従	—	3	—	4	7	7
非常勤兼務	—	1	4	5	10	5
計	1	7	4	11	23	15

12 職員の研修状況

4月	・介護記録を書く目的と意義と注意点	内部研修
5月	・当該サービスに関する研修（接遇及び利用者や家族との関係構築）	内部研修
6月	・事故発生（緊急）時の対応に関する研修	内部研修
7月	・感染症及び食中毒の発生の予防及び蔓延の防止に関する研修	内部研修
8月	・非常災害時の対応に関する研修	内部研修
9月	・認知症ケア及び認知症ケアマニュアルの履修、検証	内部研修
10月	・インフルエンザ及びノロウイルス予防及び対策に関する研修	内部研修
11月	・倫理及び法令遵守に関する研修	内部研修
12月	・プライバシー（個人情報）保護についての研修	内部研修
1月	・当該サービスに関する研修（接遇） ・ケアマネージャー様に選ばれるデイサービス運営について	内部研修 内部研修
2月	・身体拘束排除の取組みに関する研修	内部研修
3月	・当該サービスに関する研修（レクリエーション・リハビリ）	内部研修

13 区別登録者の状況

（令和2年3月31日現在）

	守山区	千種区	名東区	尾張旭市	計
男性	9人	0人	0人	0人	9人
女性	26人	1人	0人	2人	29人
計	35人	1人	0人	2人	38人

14 利用者の要介護度の状況

（令和2年3月31日現在）

登録現員	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
38人	0人	8人	8人	12人	10人	2人	4人	1人	—
100%	0%	21%	21%	32%	38%	6%	11%	3%	2.03
30年度	0%	0%	9%	38%	38%	6%	6%	3%	1.9

15 利用の状況

(令和2年3月31日現在)

	実施 日数 (日)	登録者数(人)			延利用者数(人)				31年度 1日平均 利用人数	31年度 (稼働率)	30年度 1日平均 利用人数	30年度 (稼働率)
		総合 事業	通所 介護	基準 該当	総合 事業	通所 介護	基準 該当	利用者 数合計				
4月	26	4	33	3	20	298	55	373	14.35	57.38%	18.80	75.20%
5月	27	4	31	3	22	334	58	414	15.33	61.33%	16.89	67.56%
6月	25	4	31	4	20	316	54	390	15.60	62.40%	16.85	67.38%
7月	27	5	33	4	29	363	64	456	16.89	67.56%	17.92	71.69%
8月	27	5	32	4	32	347	64	443	16.41	65.63%	16.70	66.86%
9月	25	6	29	4	31	282	64	371	14.84	59.36%	16.88	67.50%
10月	26	7	28	3	42	300	35	382	14.69	58.77%	16.26	65.04%
11月	26	6	28	2	34	293	27	358	13.77	55.08%	14.38	57.54%
12月	25	7	31	1	39	319	8	371	14.84	59.36%	16.24	64.96%
1月	25	7	32	1	40	291	8	341	13.64	54.56%	14.36	57.44%
2月	25	8	31	1	46	306	9	360	14.40	57.60%	14.42	57.67%
3月	26	9	28	1	54	307	8	369	14.19	56.77%	13.54	54.15%
計	310	72	367	31	409	4165	448	4628	—	—	—	—
平均	25.8	6	30.6	2.6	34.1	347.1	37.3	385.7	14.91	57.15%	16.1	64.4%

16 利用者のADLの状況

(令和2年3月31日現在)

ADL		男性	女性	計	割合
歩 行	全 介 助	0人	3人	3人	8%
	一部介助	6人	11人	17人	45%
	自 立	3人	16人	18人	47%
食 事	全 介 助	0人	0人	0人	0%
	一部介助	0人	0人	0人	0%
	自 立	9人	28人	38人	100%
入 浴	全 介 助	0人	1人	1人	3%
	一部介助	6人	17人	22人	58%
	自 立	3人	12人	15人	39%
着脱衣	全 介 助	0人	2人	2人	6%
	一部介助	4人	12人	15人	40%
	自 立	5人	16人	21人	54%
排 泄	全 介 助	0人	3人	3人	8%
	一部介助	1人	3人	4人	11%
	自 立	8人	24人	31人	81%
認 知 症		3人	20人	23人	61%

※障害者含まず

17 年齢別の状況

(令和2年3月31日現在)

	男性	女性	計	割合
60歳～64歳	0人	0人	0人	0%
65歳～69歳	2人	1人	3人	7%
70歳～74歳	0人	0人	0人	0%
75歳～79歳	2人	8人	10人	26%
80歳～84歳	2人	4人	6人	15%
85歳～89歳	2人	11人	13人	34%
90歳～94歳	0人	4人	4人	10%
95歳～99歳	1人	1人	2人	5%
100歳以上	0人	1人	1人	3%
計	9人	30人	39人	100%
平均年齢	80.3歳	84.5歳	82.4歳	—

※障害者含まず

18 一日のサービス実施内容

身体機能の維持・向上を図り転倒予防に努める、脳の活性化を図り認知症の進行を予防する、気分転換を図り精神的安定を図る等を目的として、複数のメニューから利用者自らが主体的に選択することを重点に置き取り組んだ。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題・記憶力問題 カレンダー作成 間違い探し・針仕事 折り紙・塗り絵・オセロ 将棋・パズル・編み物 習字・ちねり絵 トランプ・貼り絵	壁飾り作り・ちぎり絵 ・オーナメント作り・習字・カラオケ・針仕事・回想法・オセロ・将棋・トランプ・おやつ作り・折り紙 ・買い物体験（リハビリ評価）・編み物・ハンドベル 各種工作・写経	フェイシャルマッサージ 季節ごとの行事 メイク ボランティアの演芸 作品展見学 着付け体験
運動	健康チェック 全体体操	外出・体感ゲーム・輪投げ カローリング・ボーリング テーブルホッケー・散歩 ラジオ体操 季節ごとのゲーム 体操クラブ 体力測定（効果測定）	準備体操・整理体操 ※個別リハビリ 足上げ歩行・蟹歩行 上半身ストレッチ ウォーキングマシン ペダル漕ぎ・平行棒 ゴムバンド運動
口腔	歌・嚙下体操	カラオケ・会話・談話	発声訓練・口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	